

事業名	生活衛生施設等指導監視費			調査番号	39
細事業名	営業施設等指導監視事業費	財務コード	088002		
担当部課室	福祉保健 部	衛生業務 課	生活衛生 担当 (内線)	3465	

I 事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 担当部署(法令等に定める県の事務を所掌し、運用する所属及び職員)	その対象をどのような状態にして 法令等に定める県の事務を実施する上で必要な検査体制、知識及び技能を備えている	結果、何に結びつけるのか 生活衛生営業施設等における衛生水準の維持、向上
	内容 ○レジオネラ症発生による原因究明、衛生管理の向上等に係る入浴施設の水質検査体制の確保及び営業者に対する指導 ○全国生活衛生課長会への参加 ○ペストロジー実習講座(衛生害虫対策)への参加 ○生活衛生関係技術担当者研修会(厚労省主催)への参加 ○衛生行政六法(図書)、生衛ハンドブックの購入等		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	①全国会議等参加	目標 各1人	各1人	各1人	各1人	各1人	各1人	各1人
	②実習講座参加	実績(見込) 各1人	各1人	各1人	各1人	各1人	各1人	
	③技術担当者研修会参加	達成率 100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分 b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		138	2,782	416	471	225	579	557

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	会議、研修会への参加者数
成果指標			法令等に定める県の事務を実施する上で、必要な検査体制、知識及び技能を維持、確保することにつながっている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	生活衛生営業施設等における衛生水準の維持、向上につながっている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明	コスト削減のため全国大会等への参加者数をすでに削減済。		
見直しの必要性	無	検査体制を維持していく上でも、業務内容やこれ以上のコスト削減は困難である。		

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。